



# 生物多様性の保全

■地球規模生物多様性概況第3版(GBO3)  
 「生物多様性の損失は現在も続いており、今後も持続的に生態系サービスの利益を受け続けていくためには、あらゆる主体が生物多様性のために望ましい意思決定をしていくこと(生物多様性の主流化)が重要である。」

**愛知目標**

世界の生物多様性に関する新たな世界目標



長期目標:「自然と共生する」世界の実現

## ■生物多様性情報プラットフォームの構築と保全政策の戦略的推進

土地利用に関するシナリオ下での  
 広域的な生物の応答予測

- ・生物の分布推定モデルの開発
- ・土地利用変化のシナリオの策性、等

各主体が手軽に利用できる  
 社会インフラとしての  
 情報プラットフォームの構築

地球観測情報を活用した生物多様性評価・予測モデルの開発

- ・生物多様性評価モデルの開発
- ・重要地域(ホットスポット)の特定手法の開発
- ・生態系サービスを評価する指標モデルの開発

●各地域の生物多様性の現状評価と保全優先地区のマッピング  
 →それぞれの地域において求められる政策・活動の展開

●アジア規模での生物多様性評価のシステムの構築  
 →生物多様性条約やIPBES等の取組への貢献